

私とあなたの真ん中に

ちいき新聞

2023年10月6日号

松戸駅周辺版

VOL.1056 発行部数61,700部
総発行部数1,732,080部 全40版
毎週水・木・金曜日配布
購読料無料 / ポスティング

令和5年10月6日
松戸市の "ちいき新聞" に
当協会及び当クラブの記事が
掲載されました。

ちいき新聞へのお問い合わせは ☎0120-152-337 ※音声ガイダンスに従ってご用件をお話してください 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み ✉ matsudo@chiikinews.co.jp

コロナに負けず活動再開

地域に根付いた 松戸の卓球

卓球が盛んな松戸市。松戸市卓球協会は2014(平成26)年に50周年記念式典を行い、間もなく創立60周年を迎えようとしています。



交流親睦試合に参加した卓球愛好家たち

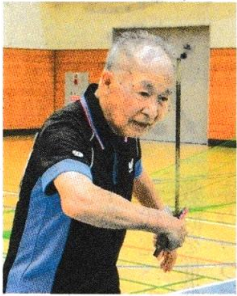


9月にリフレが開催した交流親睦試合

老いも若きも卓球で健康に

松戸市卓球協会は、1948(昭和23)年に開催された第1回松戸市市民卓球大会の関係者が発起人となり、2年後に創立されました。会場確保の

困難や予算不足などにより一時休会に追い込まれましたが、卓球愛好者の所属企業や松戸市役所の尽力により、64年に再発足。大会ごと増減はありますが、35前後のクラブ



リフレの清水さん、御年85歳

「リフレッシュユ21」を訪ねて

協会に所属するクラブの一つ、リフレッシュユ21(以下リフレ)を取材しました。

リフレは、協会会員が指導する全3回の講習会に参加したメンバーを中心に、協会の応援も得て2001年

9月に設立。原則、60歳以上の男女会員が毎週水曜日に2時間の練習とダブルスのゲームに汗を流しています。また、卓球マシンを使用した練習や、月に1度の外部コーチによる個人レッスンなど、初心者から実戦練習まで多彩なメニューをこなしています。9月には同じ松戸市内のクラブと交流親睦試合を開催しました。

4月時点で会員は35人。現在85歳の清水俊夫さんは、ほぼ毎週体育館に足を運んで練習とゲームに参加し、ナイス・スマッシュやミスに二喜一憂。健康の秘訣は「パソコンに向かってプレーするコントラクトブリッジ(カードゲーム)で頭を鍛え、卓球台を挟んだプレーで体を鍛えているから」とか。

リフレ会長の小川清さんは「せっかく知り合った地域の仲間と元気に楽しみましよう」と、会則の年齢にはこだわらず、見学やビジター参加を歓迎中。市内クラブの詳細は協会ホームページで確認を。(コソてつや)

松戸市卓球協会ホームページ
<http://mta-tta.loiipop.jp/>

